



2020年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2020年5月14日

上場会社名 エンシュウ株式会社

上場取引所 東

コード番号 6218 URL <http://www.enshu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 山下 晴央

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部 経営企画部長 (氏名) 大野 裕哉

TEL 053-447-2111

定時株主総会開催予定日 2020年6月29日

配当支払開始予定日

2020年6月30日

有価証券報告書提出予定日 2020年6月29日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	27,125	11.8	2,120	18.4	1,742	23.1	1,355	16.2
2019年3月期	30,747	31.0	2,599	179.9	2,266	236.2	1,616	170.5

(注) 包括利益 2020年3月期 1,263百万円 (15.4%) 2019年3月期 1,492百万円 (82.9%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	214.94		14.7	4.9	7.8
2019年3月期	256.34		20.6	6.8	8.5

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 百万円 2019年3月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	35,780	9,804	27.4	1,554.80
2019年3月期	34,995	8,605	24.6	1,364.45

(参考) 自己資本 2020年3月期 9,804百万円 2019年3月期 8,605百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	2,719	820	323	5,761
2019年3月期	3,428	901	234	4,194

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期		0.00		10.00	10.00	63	3.9	0.8
2020年3月期		0.00		10.00	10.00	63	4.7	0.7
2021年3月期(予想)								

(注) 2021年3月期の配当予想につきましては、現時点では未定としております。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症による影響を現時点で合理的に算定することが困難なことから未定としております。連結業績予想の算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期	6,353,454 株	2019年3月期	6,353,454 株
期末自己株式数	2020年3月期	47,384 株	2019年3月期	46,874 株
期中平均株式数	2020年3月期	6,306,449 株	2019年3月期	6,307,035 株

(参考)個別業績の概要

2020年3月期の個別業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	24,336	13.7	1,606	24.2	1,472	35.1	1,341	26.7
2019年3月期	28,200	36.4	2,120	514.1	2,268	1,103.3	1,829	1,532.2

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	212.72	
2019年3月期	290.02	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2020年3月期	33,733		10,274		30.5		1,629.38	
2019年3月期	32,879		8,998		27.4		1,426.79	

(参考) 自己資本 2020年3月期 10,274百万円 2019年3月期 8,998百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

2021年3月期の連結業績予想および配当予想につきましては、新型コロナウイルス感染症による影響を現時点で合理的に算定することが困難なことから未定としております。今後、予想が可能となりました時点で速やかに開示いたします。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は2020年5月14日に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等)	10
(1株当たり情報)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当社グループの当連結会計年度の売上高は、主に工作機械関連事業部門の減少により27,125百万円（前期比11.8%減）となりました。損益につきましては、工作機械関連事業部門が堅調に推移したものの輸送機器関連事業部門が減益したことにより、営業利益は2,120百万円（前期比18.4%減）、経常利益は1,742百万円（前期比23.1%減）となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は1,355百万円（前期比16.2%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

工作機械関連事業部門におきましては、中国の投資減退や欧米を中心とする汎用機の売上減少に加え、新型コロナウイルスの影響による売上のずれ込みも発生したことにより、売上高は16,916百万円（前期比16.9%減）となりました。セグメント利益（営業利益）は、国内の施策効果と海外現地法人の増益により1,969百万円（前期比7.7%減）と高い水準を維持することができました。

輸送機器関連事業部門におきましては、国内において四輪の新規部品の取り込みと増産に対応してまいりましたが、他部品の減少や海外現地法人の生産減少の影響などにより、売上高は10,138百万円（前期比1.8%減）となりました。セグメント利益（営業利益）は、IoTを活用した生産性向上活動などにより効率向上と費用削減を推進してまいりましたが、減収ならびに新規部品取込みのための生産準備費用増加などの影響により100百万円（前期比75.8%減）となりました。

その他の部門におきましては、不動産賃貸事業により、売上高は70百万円（前期と同額）となり、セグメント利益（営業利益）は51百万円（前期比0.3%減）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末に比べ784百万円増加し35,780百万円（前期末比2.2%増）となりました。このうち流動資産は620百万円増加し21,724百万円（前期末比2.9%増）となり、固定資産は164百万円増加し14,055百万円（前期末比1.2%増）となりました。流動資産の増加の主な要因は、受取手形及び売掛金が1,069百万円、電子記録債権が491百万円減少したものの、現金及び預金が1,533百万円、たな卸資産が907百万円増加したことによります。固定資産の増加の主な要因は有形固定資産が299百万円増加したことによります。

当連結会計年度末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて414百万円減少し25,975百万円（前期末比1.6%減）となりました。このうち流動負債は603百万円減少し14,795百万円（前期末比3.9%減）となり、固定負債は188百万円増加し11,180百万円（前期末比1.7%増）となりました。流動負債の減少の主な要因は営業外電子記録債務が201百万円増加したものの、未払法人税等が477百万円、短期借入金が299百万円、未払金が211百万円減少したことによります。固定負債の増加の主な要因は資産除去債務が71百万円減少したものの、長期借入金が100百万円、繰延税金負債が49百万円増加したことによります。

当連結会計年度末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1,199百万円増加し9,804百万円（前期末比13.9%増）となりました。増加の主な要因は親会社株主に帰属する当期純利益1,355百万円を計上したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

営業活動の結果得られた資金は2,719百万円（前期比20.7%減）となりました。これは主として減少要因であるたな卸資産の増加額914百万円及び法人税等の支払額821百万円等を、税金等調整前当期純利益1,621百万円、売上債権の減少額1,558百万円及び減価償却費958百万円等が上回ったことによります。

投資活動の結果使用した資金は820百万円（前期比9.1%減）となりました。これは主として有形固定資産の取得によるものです。

財務活動の結果使用した資金は323百万円（前期比37.7%増）となりました。これは主として借入れによる収入を借入れの返済による支出が上回ったことによります。

これらの結果、当連結会計年度末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて1,567百万円増加し5,761百万円（前期末比37.4%増）となりました。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
自己資本比率(%)	22.0	21.0	22.7	24.6	27.4
時価ベースの自己資本比率(%)	14.4	19.4	32.0	21.0	16.0
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	11.0	12.7	51.9	3.5	4.4
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	5.0	4.1	1.1	15.7	14.7

自己資本比率：自己資本/総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額/総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債/キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー/利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しています。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しています。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しています。

(注4) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(4) 今後の見通し

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により現時点では合理的な算定が困難であることから、未定としております。当該連結業績予想の開示は、算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,385	5,919
受取手形及び売掛金	6,145	5,075
電子記録債権	1,173	682
商品及び製品	2,354	2,969
仕掛品	4,828	5,104
原材料及び貯蔵品	1,625	1,641
その他	602	337
貸倒引当金	△11	△5
流動資産合計	21,104	21,724
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,710	2,659
機械装置及び運搬具（純額）	2,901	2,627
土地	7,387	7,392
リース資産（純額）	13	18
建設仮勘定	145	489
その他（純額）	220	490
有形固定資産合計	13,378	13,677
無形固定資産		
のれん	2	—
リース資産	36	75
その他	78	84
無形固定資産合計	118	159
投資その他の資産		
投資有価証券	15	12
繰延税金資産	80	130
その他	301	77
貸倒引当金	△2	△2
投資その他の資産合計	394	218
固定資産合計	13,891	14,055
資産合計	34,995	35,780

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,616	2,480
電子記録債務	1,715	1,541
短期借入金	6,479	6,180
リース債務	17	20
未払法人税等	508	31
賞与引当金	461	480
資産除去債務	—	76
未払金	2,008	1,797
その他	1,591	2,187
流動負債合計	15,398	14,795
固定負債		
長期借入金	5,600	5,700
リース債務	36	78
繰延税金負債	141	191
再評価に係る繰延税金負債	1,563	1,563
退職給付に係る負債	3,483	3,510
役員退職慰労引当金	15	15
資産除去債務	114	43
その他	35	77
固定負債合計	10,991	11,180
負債合計	26,390	25,975
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,640	4,640
利益剰余金	1,065	2,357
自己株式	△68	△69
株主資本合計	5,637	6,929
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1	0
土地再評価差額金	3,666	3,666
為替換算調整勘定	223	272
退職給付に係る調整累計額	△923	△1,063
その他の包括利益累計額合計	2,967	2,875
純資産合計	8,605	9,804
負債純資産合計	34,995	35,780

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	30,747	27,125
売上原価	25,317	22,072
売上総利益	5,429	5,053
販売費及び一般管理費	2,829	2,932
営業利益	2,599	2,120
営業外収益		
受取利息	33	34
受取配当金	0	0
受取賃貸料	7	9
受取クレーム補償金	14	10
スクラップ売却益	8	5
その他	57	35
営業外収益合計	121	95
営業外費用		
支払利息	218	184
為替差損	145	231
その他	89	57
営業外費用合計	454	474
経常利益	2,266	1,742
特別利益		
固定資産売却益	14	1
関係会社清算益	—	2
その他	0	—
特別利益合計	14	3
特別損失		
固定資産廃棄損	26	26
減損損失	0	50
出資金評価損	—	44
その他	0	3
特別損失合計	26	124
税金等調整前当期純利益	2,254	1,621
法人税、住民税及び事業税	506	266
法人税等調整額	131	△0
法人税等合計	637	265
当期純利益	1,616	1,355
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	1,616	1,355

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	1,616	1,355
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	△0
為替換算調整勘定	△211	48
退職給付に係る調整額	89	△140
その他の包括利益合計	△123	△92
包括利益	1,492	1,263
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,492	1,263
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				その他の包括利益累計額						純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	4,640	1,230	△1,781	△67	4,021	2	3,666	435	△1,012	3,091	7,113
当期変動額											
欠損填補		△1,230	1,230		—						—
親会社株主に帰属する当期純利益			1,616		1,616						1,616
自己株式の取得				△0	△0						△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						△0	—	△211	89	△123	△123
当期変動額合計	—	△1,230	2,846	△0	1,615	△0	—	△211	89	△123	1,491
当期末残高	4,640	—	1,065	△68	5,637	1	3,666	223	△923	2,967	8,605

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				その他の包括利益累計額						純資産合計
	資本金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	4,640	1,065	△68	5,637	1	3,666	223	△923	2,967	8,605	
会計方針の変更による累積的影響額		△0		△0						△0	
会計方針の変更を反映した当期首残高		1,065		5,637						8,605	
当期変動額											
剰余金の配当		△63		△63						△63	
親会社株主に帰属する当期純利益		1,355		1,355						1,355	
自己株式の取得			△0	△0						△0	
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					△0	—	48	△140	△92	△92	
当期変動額合計	—	1,292	△0	1,291	△0	—	48	△140	△92	1,199	
当期末残高	4,640	2,357	△69	6,929	0	3,666	272	△1,063	2,875	9,804	

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	2,254	1,621
減価償却費	923	958
減損損失	0	50
のれん償却額	3	2
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△103	△113
賞与引当金の増減額 (△は減少)	154	19
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△34	△6
受取利息及び受取配当金	△33	△34
支払利息	218	184
為替差損益 (△は益)	△12	46
投資有価証券売却損益 (△は益)	△0	△2
有形固定資産廃棄損	26	26
売上債権の増減額 (△は増加)	△484	1,558
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△935	△914
仕入債務の増減額 (△は減少)	△126	△279
前受金の増減額 (△は減少)	860	△3
未収消費税等の増減額 (△は増加)	51	58
未払消費税等の増減額 (△は減少)	0	152
未払金の増減額 (△は減少)	1,135	△209
その他	△198	576
小計	3,701	3,690
利息及び配当金の受取額	33	34
利息の支払額	△215	△184
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△90	△821
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,428	2,719
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△100	—
定期預金の払戻による収入	—	30
有形固定資産の取得による支出	△724	△788
無形固定資産の取得による支出	△9	△67
投資有価証券の売却による収入	5	4
出資金の払込による支出	△28	—
資産除去債務の履行による支出	△65	—
その他	20	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△901	△820
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	2,240	900
短期借入金の返済による支出	△2,660	△1,280
長期借入れによる収入	2,000	2,000
長期借入金の返済による支出	△1,769	△1,819
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	—	△63
その他	△44	△59
財務活動によるキャッシュ・フロー	△234	△323
現金及び現金同等物に係る換算差額	△101	△8
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,189	1,567
現金及び現金同等物の期首残高	2,004	4,194
現金及び現金同等物の期末残高	4,194	5,761

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

IFRS第16号「リース」の適用

国際財務報告基準を適用している子会社は、当連結会計年度より、国際財務報告基準第16号「リース」(以下「IFRS第16号」という。)を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。また、これにあわせて、従来、投資その他の資産の「その他」(長期前払費用)に計上していた土地賃借料を有形固定資産の「その他」(使用権資産)に計上することとしました。IFRS第16号の適用については、経過的な取扱いに従っており、会計方針の変更による累積的影響額を当連結会計年度の期首の利益剰余金に計上しております。

この結果、当連結会計年度末の有形固定資産の「その他」が191百万円増加、投資その他の資産の「その他」が166百万円減少、流動負債の「その他」が28百万円増加、固定負債の「その他」が41百万円増加しております。当連結会計年度の連結損益計算書及び1株当たり情報に与える影響は軽微であります。また、利益剰余金の当期首残高が0百万円減少しております。

当連結会計年度の連結キャッシュ・フロー計算書は、営業活動によるキャッシュ・フローが36百万円増加し、財務活動によるキャッシュ・フローが同額減少しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は事業部を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「工作機械関連事業」及び「輸送機器関連事業」の2つを報告セグメントとしております。

「工作機械関連事業」はフレキシブルトランスファーマシン&ライン、各種専用機、マシニングセンタ及び半導体レーザー加工機等の製造販売をしております。「輸送機器関連事業」は、二輪車用エンジン等の輸送機器部品の製造販売をしております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸 表計上額 (注) 3
	工作機械 関連事業	輸送機器 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	20,357	10,319	30,676	70	30,747	—	30,747
セグメント間の内部 売上高又は振替高	153	0	153	—	153	△153	—
計	20,510	10,319	30,829	70	30,900	△153	30,747
セグメント利益	2,132	415	2,548	51	2,599	—	2,599
セグメント資産	20,871	9,443	30,314	1,754	32,068	2,926	34,995
その他の項目							
減価償却費	247	684	932	9	941	△14	927
減損損失	—	0	0	—	0	—	0
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	265	554	819	4	824	3	828

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業であります。

2 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント資産の調整額2,926百万円には各報告セグメントに配分していない全社資産が含まれております。全社資産は主に余資投資資金（現金及び預金・投資有価証券）及び管理部門に係る資産等であります。

3 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸 表計上額 (注) 3
	工作機械 関連事業	輸送機器 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	16,916	10,138	27,054	70	27,125	—	27,125
セグメント間の内部 売上高又は振替高	141	0	141	—	141	△141	—
計	17,057	10,138	27,195	70	27,266	△141	27,125
セグメント利益	1,969	100	2,069	51	2,120	—	2,120
セグメント資産	20,476	8,795	29,271	1,753	31,025	4,754	35,780
その他の項目							
減価償却費	281	684	966	9	975	△13	961
減損損失	50	—	50	—	50	—	50
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	421	746	1,167	8	1,176	△43	1,132

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業であります。

2 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント資産の調整額4,754百万円には各報告セグメントに配分していない全社資産が含まれております。全社資産は主に余資投資資金（現金及び預金・投資有価証券）及び管理部門に係る資産等であります。

3 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	1,364.45円	1,554.80円
1株当たり当期純利益	256.34円	214.94円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式がないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	1,616	1,355
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	1,616	1,355
普通株式の期中平均株式数(株)	6,307,035	6,306,449